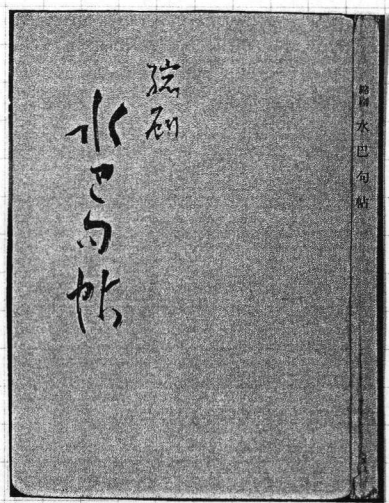


渡邊水巴 抄録 俳人。明治十五年六月十六日東京生れ、昭和二十一年八月十二日歿（二八二一九四）。本名義。別號流觴居、靜美。日本畫家渡邊省亭の長男。日本中學校中退。内藤鳴雪、のち高濱虚子の師。明治二十九年『俳諧草紙』を、大正五年『曲水』を創刊主宰。この間『ホトトギス』（小據）、大正前期該誌隆盛の中心的存在となる。

著書『水巴句集』（大正四年二月一日曲水吟社「曲水文庫」）、高濱虚子著『虚子句集』（選、大正四年七月二十四日植竹書院）、内藤鳴雪『羊輪講』子規句集講義』（共著。青峯筆記、大正五年八月十日俳書堂）、『曲水俳句鈔』全二冊（選、上巻・大正七年八月五日、下巻・十一月十日曲水吟社「曲水文庫」）、『水巴句帖』（大正十一年六月十六日風雅堂）、『流觴水巴句帖』（昭和四年十一月二十一日曲水社）、『隈笹』（昭和七年二月一日曲水社「曲水叢書」）、『俳句作法講義・第二巻』（合著。山本三洋編、昭和十年十一月二十日改進社）、『花と語ら』（昭和十五年五月五日曲水社「曲水叢書」）、『富士』（昭和十八年十月二十日青磁社）、『むらさきの寄席』（合著。中山各海、油出、谿編、昭和十九年新春政・明治き徳会）、『燈影禮讚』（昭和二十年二月十一日曲水社「續曲水叢書」）、『妹』（昭和二十二年二月十五日青磁社）、『隨筆集 可受居』（合著。中村義一編、昭和二十二年十一月二十五日大河内書店）等。



『隨筆集 可受居』